



ドリアス

富山県

No.45 2007年10月

# 中央植物園だより



「稚児華」 撮影/赤倉みつ子さん（第10回私の植物写真展応募作品）

チングルマ *Sieversia pentapetala* (L.) Greene

バラ科の匍匐性の矮小低木で日本では北海道や本州北・中部の高山に生育しています。夏に白い可憐な花が咲きますが、花後の結実時の姿も可憐です。

BOTANIC GARDENS OF TOYAMA

10月～12月のサンライトホール展示

## 企画展「茶と珈琲の植物物語」

9月28日(金)～11月7日(水)



中央植物園熱帯果樹室のアラビカコーヒーノキ

世界の二大嗜好飲料である茶と珈琲について材料になる植物や文化などさまざまな角度から紹介します。

茶には緑茶をはじめ、紅茶、ウーロン（烏龍）茶などがありますが、これらはすべて植物学的には同一種である「チャノキ」から作られます。チャノキは富山県中央植物園ともたいへん縁が深い中国雲南省あたりが原産といわれています。日本をはじめ、中国や台湾では緑茶を中心に飲まれています。世界のほとんどの国では茶といえば紅茶を指し、世界の茶の約七割は紅茶が占めています。また、富山県朝日町には日本では珍しい後発酵茶（黒茶）のバタバタ茶があります。

私たちが日ごろ飲んでいるコーヒーのほとんどは「アラビカコーヒーノキ」を原料に作られます。この植物はアフリカのエチオピアあたりを原産とし、様々な物語とともに世界中に広がりました。現在の最大の生産国は南米ブラジルです。コーヒーハウスなどコーヒーを飲む場所がコミュニケーションの場所になり、今も昔も人々のつながりや文化に大きな影響を与えて

きました。

コーヒーの普及に大きな影響を与えたインスタントコーヒーは日本人が発明しました。



# 植物園 トピックス

研修生によりタケを使った紙漉きが行われました。



タケに関する研修のために高知農業高校から派遣された小林那々緒先生とJICAの研修でブラジルから来日した嶋田雅信さんがタケを使った紙づくりに挑戦し、植物園クラブなどで入園者にも体験していただきました。

研修員の嶋田さんは8月2日に帰国しました。

竹の研修に来ていた嶋田雅信さんが7月末に富山県を離れ、帰国しました。



嶋田さんは地元の鷺坂小学校で講演を行うなど、地域の方とも積極的に交流していました。



帰国した嶋田さんから早速メールが届きました。日本とはちょうど反対側にあるブラジルは今が冬で、霜が降りたそうです。嶋田さんが営んでいるリンゴ農園にとってはちょうど良い寒さだそうです。

たくさんの研修生が来ました。

今年も夏休み期間中、博物館実習の大学生をはじめ、教員研修、富山県立中央農業高校のインターンシップなどたくさんの研修生がさまざまな研修を体験していきました。



## 研究紹介

### 『雲南省でのアヤメ科植物の調査より』

志内 利明

富山県中央植物園は中国雲南省の昆明植物研究所と毎年互いに職員を派遣して共同研究を進めています。平成18年度は(財)国際花と緑の博覧会記念協会の研究助成を受け、「アヤメ科植物遺伝子資源保全のための日中共同研究」の一環として、私は日本と雲南省に共通して育成するアヤメ科のシャガ、イチハツ、カキツバタとヒオウギの自生地の状況などを重点的に調査しました。

シャガは日本では二次林やスギ林などの林床によく見られるものの、3倍体で種子をつけることはないことなどから、またイチハツも古い文献などから古い時代に中国からもたられたと考えられていました。雲南省北西部の保山区では古くから実を収穫するためにクルミの仲間 *Juglans sigillata* を川沿いに栽培しており、シャガとイチハツはその林下に多く野生していました。そのため本来の自生であるのかは疑問ですが、シャガは湿ったより暗いところに、イチハツは明るく乾いたところでも生育しており、両者が微妙に住み分けていることを確認しました。その後、野口達也氏よりイチハツが茨城県の男体山などに自生するという情報をいただきました。今年は現地へ赴くことはできませんでしたが、近いうちに現地の自生状況を確認したいと考えています。カキツバタは雲南省北西部の北海湿原にだけ見られ、厳重な保護を受けていました。残念ながら、

開花期を過ぎていましたが、5月ごろのカキツバタの開花時には青い花が浮島などに一面に広がるそうです。ヒオウギは雲南省の南西部を中心に自生地の調査を行いました。分布が非常にまれであり、しかも自生個体を発見しても近くに別な個体をほとんど見つけられませんでした。ヒオウギは胃薬などに用いるため、地元の方々が野外で発見すると持ち帰り、家で栽培することが多いそうで、現に庭先の鉢植えや畑などに栽培するのを見かけました。中でも畑の脇で栽培するヒオウギが背丈2.5mほどに達していたのには驚きました。この大型のヒオウギをはじめ、今後シャガやイチハツなども染色体の観察から倍数性のチェックなどの調査を進める予定です。



雲南省で見た巨大なヒオウギ

## 活動報告 (6~8月)

### 「サツキ展」

6月1日(金)~3日(日)



地元愛好家団体の寿さつき会との共催により、会員のみなさんが日ごろから丹精を込めて栽培しているサツキ約60点を展示しました。

### 「植物写真教室」

6月3日(日)

### 「私の植物写真展」 6月8日(金)~7月4日(水)



富山県写真家協会との共催により、「写真教室」と「私の植物写真展」を開催しました。

写真展作品の中から植物園だよりの表紙に使わせていただきました。

### 栽培講習会「クレマチス」

6月10日(日)



クレマチス協会会員で植物園ボランティアの越野淳一さんを講師にクレマチスの栽培講習会を開催しました。

### 県民植物学講座

#### 「富山県の植生」

7月1日(日)

#### 「立山の植物とライチョウ」 8月19日(日)



中央植物園の山下副主幹研究員が「富山県の植生」について、吉田主任が「立山の植物とライチョウ」について、それぞれ講演を行いました。

### ゲッカビジン観賞

7月1日(日)・2日(月)



毎年、たくさんの問い合わせをいただく「ゲッカビジン観賞」ですが、今年は2日間で164輪の開花と、例年よりやや少なめでした。

### 「キョチクの七夕飾り」 7月6日(金)~18日(水)



熱帯雨林植物室に植栽され、大きさが世界最大級になるという「キョチク」を使って地元のピノキオ保育園の園児たちが七夕飾りを飾ってくれました。また、研修生のアイデアによるタケを材料にした紙漉きもたいへん好評でした。期間中、ロシアからのお客さんもあり、国際色豊かなイベントになりました。

### 夏休み特別企画「親子体験コーナー」

7月20日(金)~8月29日(水)



夏休み期間中、「親子体験コーナー」を開設し、どんぐり工作、顕微鏡観察、折り紙など来園した親子が自由に参加できるようにしました。連日大勢の親子が訪れ、さまざまな作品を作っていました。

### 夜間開園「夜の温室植物」

8月14日(火)・15日(水)



14日の晩からパラグアイオニバスの開花が始まり、北陸地域では始めて公開することができました。

## 「第1回秋のラン展」

11月16日(金)～11月18日(日)

今年度から「秋のラン展」を開催することになりました。この時期に見ごろを迎えるカンラン（寒蘭）や秋咲きの洋ランなどを展示します。カンランの仲間は芳香を放つことでも知られています。花だけではなく、ぜひ香りも楽しんでみてください。

関連行事：ランの栽培講習会

日時： 11月17日(土) 13:30～15:30  
11月18日(日) 13:30～15:30

場所：ドリアスホール

参加費：入園料のみ必要です



カンラン

(*Cymbidium kanran* Makino)  
本州の東海地方以西から琉球列島、台湾に分布する



## 「クリスマスの植物」&「クリスマスフェスタ」



昨年のクリスマスフェスタの様子

### 「クリスマスの植物」

11月30日(金)～12月26日(水)

9:00 - 16:30

企画展「クリスマスの植物」では、巨大クリスマスツリーのほか、日本のクリスマスでは「クリスマスプランツ」としてすっかり定着したポインセチアやシクラメンなどを展示します。

### 「クリスマスフェスタ」

12月15日(土)・16日(日)

昼の部： 9:00～16:30 (入園は16:00まで)  
(大人600円、高校生以下無料)

夜の部： 17:00～20:00 (入園は19:30まで)  
(大人300円、高校生以下無料)

昨年初めて開催して好評だった「クリスマスフェスタ」を今年も12月15日(土)・16日(日)の二日間開催します。地元のピノキオ保育園や富山古楽協会、ゴスペルグループのT-GRACE CHOIRによるクリスマスソングの演奏会などを開催します。



## 北陸初公開 パラグアイオニバスの花

パラグアイオニバスの花が開花しました。開花がちょうど夜間開園の日と重なり、北陸では初めて公開することができました。この仲間は1日目は純白の花が咲き強い芳香を放ちます。翌日の昼間は閉じていますが、夕方から再び開花し、花の色は赤みを帯びます。



開花1日目の  
パラグアイオニバスの花



開花2日目の  
パラグアイオニバスの花

## 催し物のご案内

### サンライトホール展示

#### 「茶と珈琲の植物物語」

9月28日(金)～11月7日(水)

9:00～17:00(11月は16:30まで)

植物としてのチャとコーヒーや飲み物としての文化について紹介します

入園料が必要です

#### 「第1回秋のラン展」

11月16日(金)～11月18日(日)

9:00～16:30

富山県蘭協会との共催で、カンランなどこの時期に開花するランを展示します。栽培講習会も開催します。

入園料が必要です

#### 「クリスマスの植物」

11月30日(金)～12月26日(水)

9:00～16:30

シクラメンやポインセチアなどクリスマスシーズンを飾る植物を紹介します。

入園料が必要です

#### 「クリスマスフェスタ」

12月15日(土)・16日(日)

昼の部 9:00～16:30

夜の部 17:00～20:00

ミニコンサートなどを行います。

入園料/昼の部(大人600円、高校生以下無料)

夜の部(大人300円、高校生以下無料)

#### 「干支にちなんだ植物展」

12月7日(金)～1月16日(水)

9:00～16:30

今年の干支「亥」と来年の「子」に因んだ植物を実物や写真などで展示します。

入園料が必要です

### 観察会・講座・講習会

#### 紅茶・中国茶の楽しみ方

要申込

10月1日(月) 13:30～15:30

場所/実習室

講師/藤本美智子(日本紅茶協会認定ティーインストラクター)

定員/24名

参加費/実費

開催日が月曜日ですのでお気をつけください

#### 第15回TOYAMA植物フォーラム「お茶とコーヒーのある暮らし」

10月7日(日) 13:00～16:00

場所/研修室

講師/劉園英(北陸大学薬学部 准教授)・荻田信二郎(富山県立大学 講師)

定員/70名

参加費/無料

#### 体験バタバタ茶

要申込

10月14日(日) 13:30～15:30

場所/実習室

定員/24名(親子)

参加費/実費

#### 県民植物学講座 「富山県の絶滅危惧植物」

要申込

10月21日(日) 13:30～15:30

場所/研修室

講師/中田政司(中央植物園副主幹 研究員)

定員/30名

参加費/無料

#### コーヒーの楽しみ方

要申込

11月28日(日) 13:30～15:30

場所/実習室

講師/高橋義雄(南方郵便機店主)

定員/30名

参加費/実費

#### ランの栽培講習会

11月17日(土) 13:30～15:30

11月18日(日) 13:30～15:30

場所/ドリアスホール

講師/富山県蘭協会会員

定員/50名

参加費/入園料が必要です

#### 県民植物学講座 「富山県の植物を調査する」

要申込

12月16日(日) 13:30～15:30

場所/研修室

講師/大原隆明(中央植物園主任)

定員/30名

参加費/無料

### 夜間開園

#### 「クリスマスフェスタ」

12月15日(土)・16日(日)

17:00～20:00 入園は19:30まで

サンライトホール・展示温室

ミニコンサートも行います

入園料/300円(高校生以下無料)

### 月例行事

#### 日曜植物案内

10月7日(日)・10月14日(日)

11月4日(日)・11月11日(日)

12月2日(日)・12月9日(日)

1月6日(日)・1月13日(日)

13:30～14:30 今年から時間が午後になります

集合場所/サンライトホール

参加費/入園料が必要

ガイドボランティアや職員が見頃の植物などを解説します

#### 植物園オリエンテーリング

10月21日(日)

10:00～11:00 受付

植物に関する問題を解きながら楽しく園内をまわる行事です

集合場所/サンライトホール

参加費/入園料が必要

要申込 事前の申込が必要です。前日までに「電話」でお申込みください。

要申込 事前の申込が必要です。申込は1ヶ月前から「往復はがき」で受け付けています。

印はボランティア養成講座です

## 友の会会員募集中!

特典 会員証を示しサインするだけで入園できます。/会報や植物園だよりが送られてきます。/多彩な友の会の行事に参加できます。/印刷物を割引で購入できます。

会費 年額3,000円。5月以降、新規に加入される方は初年度会費の割引を受けられます。

入会方法 植物園の入園窓口で随時受け付けています。

### 富山県中央植物園 入園案内

開園時間 9:00～17:00(入園は16:30まで)  
(11月～1月は9:00～16:30、入園は16:00まで)

休日 毎週木曜日、年末年始(12月28日～1月4日)

入園料 大人(一般および大学生) 600円  
団体料金(20名以上) 480円  
高校生以下無料

交通案内 JR富山駅から、富山地铁バス「ファポーレ経由萩の島循環」に乗車し「中央植物園口」停留所下車、徒歩約12分/富山市中心部より車で約15分/北陸自動車道富山インターより車で約15分/JR速星駅より車で約8分